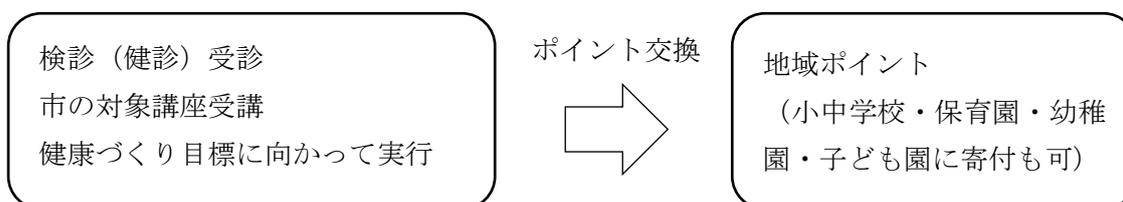


健康都市宣言関連の取り組みについて

○健康マイレージ事業の推進

この制度は、市民の皆さんが健康づくりに興味を持ち、生活習慣病予防や介護予防に繋げ、健康に生活していただくことができるよう、健康の重要性を普及啓発する事業です。検診（健診）受診や健康づくりで健康ポイントが 50 ポイント貯まれば、地域ポイント（さのぼ）500 ポイントに交換できます。今年度から地域ポイントに交換することになり、学校・保育園・幼稚園・子ども園などへの寄付や地域ポイント加盟店でも利用できるなどポイントの利用範囲が広がります。



○ウォーキングイベント歩き愛です（あるきめです）の開催

歩くことによる健康づくりの推進とまちの活性化を図る新しいウォーキングイベントです。このイベントには多くの協賛企業からの応援をいただいています。平成 28 年度はりんくうタウンと大木地区で実施されました。

参加証の「歩き愛です」の歩数計を持っていると全国の「歩き愛ですイベント」に参加でき、加盟店で優待サービスを受けることができます。

○健康フェスタの開催

健康づくりに取り組む団体や機関が協力して、市民が楽しく健康づくりを考える機会とするイベントです。子どもから大人まで参加できる内容となっています。

○検診（健診）の充実

- ① 健診場所はかかりつけ医か健診センター等の集団検診か選べます。
- ② 自己負担金無料の検診があります。
 - ・大腸がん検診は全員無料
 - ・乳がん（40 歳）、子宮がん（20 歳）の対象者には無料クーポン券の発行
- ③ 集団検診においては、希望する検診が同日に受けられるセット検診を実施しています。
 - ・今年度から健診センターで実施する検診日に、関心の高い乳がん・子宮がん 検診をすべてセット
- ④ 集団検診は日曜日、夜間の日程や地域での実施もあります。
 - ・今年度は日曜検診 4 日、夜間検診 4 日、出張検診 6 ヶ所

- ⑤ 特定健診などとがん検診がセットで受けられる日程があります。
 - ・国民健康保険加入者だけでなく、「協会けんぽ」加入の家族や「後期高齢者保険」加入者も血液検査などの健診とがん検診と同時に受診
 - ・がん検診のみを希望する受診者向けの日程も準備
- ⑥ 泉佐野市の国民健康保険特定健診は他市に比べて充実した検診内容となっています。
 - ・「心電図」「貧血検査」「総コレステロール検査」「腎機能検査」を追加
- ⑦ 集団検診の予約はライフスタイルに合わせて選べます。
 - ・コールセンターでの予約は平日、土曜日とも夜7時まで受付が可能
 - ・今年度から Web 予約で期間内は24時間受け付け
 - ・今年度から仲間が5人集まれば、予約期間より先行して予約
- ⑧ 今年度はショッピングセンターでの検診を実施する予定です。
- ⑨ ボランティア団体との協働で魅力ある検診をめざします。
 - ・検診受診者へ試食で減塩のすすめ（泉佐野市食生活改善推進協議会）
 - ・がん検診受診者へ生活習慣病予防のきっかけづくり（いずみさの健康づくり応援団）
 - ・がん検診受診者がリラックスして受診できるハンドマッサージなどのサービス、自己触診の実習（ピンクリボン大阪）
- ⑩ 様々な対象者へ検診の重要性を啓発します。
 - ・広報誌掲載や会議での情報提供（泉佐野市長生会連合会）
 - ・パンフレットの配布による情報提供（大阪府泉佐野保健所管内泉佐野地区公衆衛生協力会）
 - ・学生ボランティアによる PR 活動
 - ・市民フォーラムなどの共催により検診情報の発信（一般社団法人「らふ」）
 - ・イベントの共催（りんくう総合医療センター）
- ⑪ 特定健診後は結果に応じたフォローをしています。
 - ・特定保健指導対象者にはヘルシーランチ会、健康増進センターの利用券の配付
 - ・糖尿病検査で異常のあった人には透析への移行を予防する「糖尿病性腎症患者の重症化予防事業」
 - ・健診内容に「心電図」「脈拍測定」を追加し、その結果「心房細動」の所見がある受診者に脳梗塞予防のための受診勧奨
 - ※脳梗塞の予防啓発活動において日本脳卒中協会から「サノフィ賞」を受賞

○妊娠・出産・子育てのサポートの充実

- ① 市役所本庁舎へ移転したことにより、子育て支援課など他の分野と協働やすくなり、妊産婦や子育て中の保護者への支援が強化しました。
- ② 泉佐野市不妊治療支援事業により、不妊・不育治療の経済的負担を軽減する助成

を行っています。

- ③ 妊娠中の健診はほとんど自己負担なしで受診できます。
- ④ 妊娠中から子育て期まで一貫した支援を展開しています。
 - ・妊産婦等歯科健診で妊娠を希望する女性、妊婦、産婦は無料で歯科健診
 - ・スマホの電子母子手帳「さのっ子ナビ」で予防接種の管理や情報配信
- ⑤ 産科医療機関の助産師による相談事業「産後 2 週間サポート事業」を実施し、最も不安の高まる時期の産婦をサポートしています。